

令和6年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 久万高原地域食材伝承事業費
(2) 事業期間 令和4年度～令和6年度
(3) 所 管 農林水産振興部 農業振興課 地域農業育成室 久万高原農業指導班
(4) 予算額 1,271 千円

2 事業目的

久万高原地域において、軽量で高齢者にも取り組みやすく、古くから栽培されている「雑穀」に注目し、雑穀の生産振興をはじめ、雑穀を利用した郷土料理の伝承や新たな商品開発等を支援する。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 雑穀の生産振興

- ・「地とうきび」、「たかきび」、「こきび」の雑穀の展示ほを3か所に設置した。
- ・農業指導班実証ほ場において雑穀を育苗した後、希望農家に配布するとともに、定植から栽培期間中に巡回を行い、安定生産技術を指導した。

(2) 郷土料理の伝承活動

- ・町内の幼稚園や小学校を対象に、雑穀を用いた郷土料理講座を開催し、その伝承を図った(図1)。

(3) 雑穀の新たな商品開発及び販売

- ・前年度から継続して雑穀メニューを提案し、町内のカフェで雑穀を用いたカレー等、ビーガン向けのランチメニューの一般販売が開始された。
- ・町内の収穫祭で「たかきび」を代替肉として使用した「クーマカレー」のPRを行った。
- ・上浮穴高校と町内でスパイス製造等を行っている業者が共同で開発した雑穀カレーの具材セット「ぷちきびカレー」の一般販売が開始された(図2)。
- ・町内の飲食施設等を対象に、料理専門家が開発した雑穀を用いたレシピに基づくメニューの調理講習会を開催し、関係者の意識啓発を図った。



図1 町内小学生に雑穀を用いた郷土料理を伝承



図2 商品化されたぷちきびカレー

4 成果（何がどう変わったか）

- 新たに雑穀栽培者が6名増加し、地域内の栽培者は23名(前年:17名)、栽培面積は250a(前年比:135%)となった。
- 雑穀を用いたメニューのイベント等でのPRや雑穀を用いた商品の一般販売により、雑穀の需要創出につながった。